

呉工業高等専門学校	開講年度	令和02年度(2020年度)	授業科目	古典文学Ⅱ
科目基礎情報				
科目番号	0128	科目区分	一般 / 選択必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	機械工学科	対象学年	2	
開設期	後期	週時間数	2	
教科書/教材	『国語総合 古典編』(東京書籍) (1年次から継続使用)			
担当教員	石本百合子			

到達目標

- 1、随筆の古典的名作を読むことで、過去の言語文化に対する関心を深め、心情を読みとる能力を育てる。
- 2、漢文の文法と訓読に習熟し、ことわざの語源について学び、日本語能力の基礎とする。
- 3、口承芸文の古典的名作を読むことで、想像力を身に付け、言語感覚を磨く。
- 4、俳諧文学に親しみ、伝統的な感情を読みとることで、想像力を身に付ける。
- 5、総合的な日本語能力や教養、想像力を身に付け、人間的感性を涵養する。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	随筆の古典的名作を読むことで、過去の言語文化に対する関心を深め、心情を読みとることが適切にできる。	随筆の古典的名作を読むことで、過去の言語文化に対する関心を深め、心情を読みとることができる。	随筆の古典的名作を読むことで、過去の言語文化に対する関心を深め、心情を読みとることができない。
評価項目2	漢文の文法と訓読に習熟し、ことわざの語源について学び、日本語能力の基礎とすることが適切にできる。	漢文の文法と訓読に習熟し、ことわざの語源について学び、日本語能力の基礎とすることができます。	漢文の文法と訓読に習熟し、ことわざの語源について学び、日本語能力の基礎とすことができない。
評価項目3	俳諧文学に親しみ、伝統的な感情を読みとることで、想像力を身に付けることが適切にできる。	俳諧文学に親しみ、伝統的な感情を読みとることで、想像力を身に付けることができる。	俳諧文学に親しみ、伝統的な感情を読みとることで、想像力を身に付けることができない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HA)

教育方法等

概要	古典の授業を通して、日本文化と東アジアの文化に対する教養や心情を涵養する。各作品の読解により、古人に対する想像力を身に付け、文学表現に対する深い理解を学ぶ。古典読解は人間力育成のために必要である。
授業の進め方・方法	講義を基本とする。適宜課題提出も課す。
注意点	授業態度を重視する。積極的な授業参加を求める。語彙力、読解力、感受性を養い、東洋文化の基底を理解し、多様な価値観ある人間力を育成したい。 また、新型コロナウイルスの影響により、授業内容を一部変更する可能性がある。

授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	1週	ガイダンス、中世の文学史	1、古典文学史の素養を身につける。
	2週	「徒然草」(「つれづれなるままに」)	2、隨筆「徒然草」文学史的知識を身に付け、導入に「徒然草」の批評眼の立ち位置を学ぶ。
	3週	徒然草「ある人、弓射ることを習ふに」	3、隨筆「徒然草」人生の知恵を読み解し体得できる能力を育てる。文中の文法、語彙を読みとる能力を育てる。
	4週	徒然草「ある人、弓射ることを習ふに」	
	5週	漢文訓読の基本	
	6週	「塞翁馬」	4、「塞翁馬」漢文の文法と訓読に習熟し、ことわざの語源について学ぶ。
	7週	中間試験	
	8週	答案返却・解説、漢詩のきまり、「春曉」	5、漢詩「春曉」～「春望」漢詩の鑑賞能力を身につけ、それらの表現から人生の意味について考える。
4thQ	9週	「送元二使安西」	
	10週	「静夜思」	
	11週	「春望」	
	12週	「奥の細道」「漂白の思ひ」	6、「奥の細道」俳諧、芭蕉に関する基礎的知識を身につける。鑑賞を通して、作者の価値観・自己観照のあり方を読みとる。
	13週	「奥の細道」「平泉」	
	14週	「奥の細道」「平泉」・まとめ	
	15週	期末試験	
	16週	答案返却・解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ
総合評価割合	80	0	0	0	20
基礎的能力	80	0	0	0	20
				その他	合計
					100
					100

専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0